

令和7年度 第1学期 終業式 校長式辞
校長 星野 亨

みなさん、おはようございます。

本日、こうして無事に1学期の終業式を迎えられたことを、とても嬉しく思います。新年度のスタートから今日までの4か月間、みなさん一人ひとりが学び、挑戦し、成長してくれたことに、心から拍手を送りたいと思います。

今年度、本校では「S.P.A.R.K. for our well-being！」というスローガンのもと、これからの時代を生き抜くために必要な力を育てようとしています。その中でも特に大切にしているのが、Agency(よりよい方向へ向かうために、自ら考え、判断し、行動する力)と、Resilience(困難を乗り越える力)です。

それらを育むためには、ひとり一人が当事者意識をもち、たとえ対立や行き違いが起きたとしても、「どうすればよくなるか」を自ら考え、他者と協力しながら解決に向けて努力を続けることが大切です。

うまくいかないこともあります。私もそうです。私は特別な才能があるわけではありませんが、「あきらめずに続けることならできる」と信じて日々行動しています。「才能ないなら、手数で勝負」と自分に言い聞かせながら、自ら考え、判断し、行動することを心がけています。みなさんもきっとできると、私は信じています。

この1学期、校長室には多くの生徒が訪れてくれました。登校時や校内ですれ違ったとき、気持ちのこもったあいさつをしてくれる人もたくさんいて、そのたびに元気をもらっています。

先日も、伊勢崎駅の階段を下りているとき、ある生徒が自然に「こんにちは」と声をかけてくれました。そのひと言に、思わず笑顔になり、心があたたかくなりました。

あいさつとは、「相手の存在を認める行為」だと考えています。

「あなたの存在を認識しています」という気持ちが、たった一言に込められています。

みなさんも、あまり親しくない人からふとあいさつをされて、なんだか嬉しくなった経験があるのではないでしょうか。

それだけで「私のことを意識してくれたんだ」「ここにいていいんだ」と感じられる。あいさつには、そんな力があります。

そして、みなさんのおいさつには、確かにその力があると私は感じています。クラスメイト

や部活動の仲間においてのあいさつもそんな思いを意識しながらあいさつをしてみると、さらによい雰囲気が生まれると思います。意識してみてください。

また、この1学期に校長室を訪れてくれた生徒たちは、生徒の視点でさまざまな提案や相談をしてくれました。校則、施設、学校生活に関する声など、多くの気づきをもらいました。校長として責任をもって取り組むべきことには真摯に対応しますが、みなさん自身が主体的に進めるべきことについては、あえて「それは、あなたたちがやってごらん」と伝えるようにしています。

その代表的な例が文化祭です。準備の中で、どのように合意をつくり、どんな形で実施していくのか。自分たちで考え、話し合い、決めていくプロセスに、Agency の本当の価値があります。私はその過程をとても楽しみにしています。

一方で、Resilience（レジリエンス）も、みなさんの中で着実に育ってきています。テストで思うような結果が出なかった人、部活動で悔しい思いをした人、人間関係に悩んだ人——いろいろな経験があったと思います。それでもあきらめず、前を向こうとしたその姿勢こそが、Resilience そのものです。

私は、日々の学校運営の中で、つねに心がけていることがあります。

生徒のしあわせにつながること

教師の幸せにつながること

保護者の安心につながること

とりわけ、若い先生たちが“生きがい”を感じながら、教育という仕事にやりがいと誇りをもって働くようにと、私も日々願いながら行動しています。

また、社会に出たあともいきいきと人生を楽しんでいる先生たち、そして私自身の姿を通して、みなさんが「こんな大人になりたい」と思えるような学校を、これからも一緒につくりていきたいと考えています。

夏休みは、リフレッシュの時間であると同時に、自分の Agency と Resilience を見つめ直すチャンスもあります。

この夏の行動も、「自ら考え、判断し、行動する」ことから始めてみてください。

「誰かのせいにこうなった」と考えるのではなく、人のせいにせず、当事者意識をもち、自

らの行動でよりよい方向へ進んでいく。

ネガティブな気持ちを抱えたまま過ごすよりも、自分の力で少しでも前向きに動けたとき、人は大きなやりがいと自信を感じられるものです。

その実感こそが、これから的人生において、大きな支えになるはずです。

現在、本校では、体育館のエアコン設置、和式トイレの洋式化、Wi-Fi 環境の改善など、学校施設の環境整備に向けた要望を桐生市教育委員会に提出しています。

特にトイレの洋式化については、本日、生徒アンケートを配信します。市に提出する資料として活用しますので、ご協力をお願いします。

また、PTA 本部役員の保護者の皆さんも、こうした施設改善に向けた要望活動を主体的に進めてくださっています。まさに、保護者の方々が Agency を発揮してくださっているのです。

そして保護者の皆さん、「生徒の声」がこの活動には欠かせないと感じておられます。後ほど Teams を通じて、この施設改善にむけての保護者の活動に協力してくれる生徒を募集しますので、みなさんもぜひ主体的に参加してみてください。

先日は朝の HR で、私から「自転車の破損が続いている件」についてお話ししました。

現在、防犯カメラの設置に向けた準備を進めています。もうしばらくお待ちください。

そして最後に、私自身のことを少しだけお話しさせてください。

私は、桐商に赴任できたことを、心から幸せに感じています。

それは、なによりも、みなさん一人ひとりとの出会いがあったからです。

桐商生のがんばる姿を見るたびに、「自分もがんばらないと」と励まされます。

みなさんも、この学校生活の中で、少しでも「しあわせだな」と思える瞬間があれば、それを私はとても嬉しく思います。

どうか、事故やけがには十分に気をつけて、安心・安全な夏休みをお過ごしください。

そして2学期、また元気なみなさんと会えることを、心から楽しみにしています。

ありがとうございました。